参考資料３

令和５年度

ジェンダー平等社会に関する

アンケート調査報告書

令和６年（２０２４年）３月

茅ヶ崎市

目次

第１章　調査の概要 …… 1

１　調査の目的 …… 1

２　調査の方法 …… 1

３　回収結果 …… 1

４　調査結果の見方 …… 1

第２章　調査結果の詳細 …… 2

１　回答者の属性 …… 2

２　各設問の調査結果 …… 4

（１）ジェンダー平等に関する用語の認知度 …… 4

①男女共同参画社会基本法 …… 4

②女性活躍推進法 …… 5

③配偶者暴力防止法 …… 6

④困難女性支援法 …… 7

⑤ジェンダー平等 …… 8

⑥多様性社会 …… 9

⑦性的マイノリティ …… 10

⑧茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画 …… 11

⑨本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組 …… 12

⑩茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ …… 13

（２）男女の地位の平等の考え方について …… 14

（３）「男は仕事、女は家庭」という考え方について …… 17

（４）一般的に女性が職業を持つことについて …… 18

（５）配偶者・パートナー間における暴力の経験について …… 19

（６）女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて …… 29

第３章　調査結果のまとめ …… 30

資料編 …… 31

第１章　調査の概要

第１章　調査の概要

１ 調査の目的

この調査は、ジェンダー平等社会に関する市民の意識を把握し、今後の茅ヶ崎市のジェンダー平等の施策に反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

２ 調査の方法

（１）調査地域：茅ヶ崎市全域

（２）調査対象：市内在住の１８歳以上の男女１，３００人

（３）抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出

（４）調査方法：郵送配布・郵送回収（封書）またはインターネット回答

（５）調査期間：令和５年１２月１日（金）から１２月３１日（日）まで（当日消印有効）

３ 回収結果

（１）配　布　数：１，３００

（２）有効回収数：５２３（封書：３０６・インターネット：２１７）

（３）有効回収率：４０．２％

４ 調査結果の見方

（１）図表中のＮは、回答者数のことです。

（２）回答は全てＮを基数とした百分率で表し、小数点第二位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が１００％にならない場合があります。

（３）集計の結果の表やグラフでは、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。

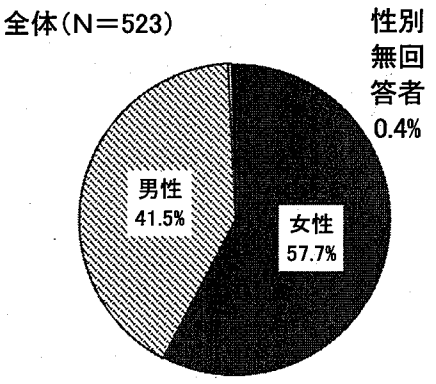
第２章　調査結果の詳細

第２章　調査結果の詳細

１　回答者の属性

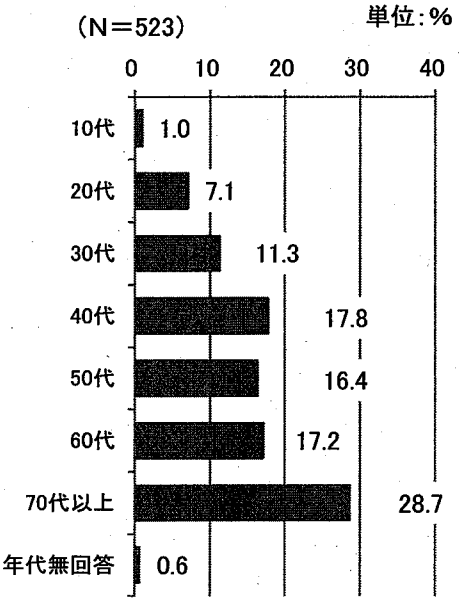
（１）性別

性別	件数	%
女性	302	57.7
男性	217	41.5
その他	2	0.4
性別無回答者	2	0.4
合計（回答者数Ｎ）	523	100



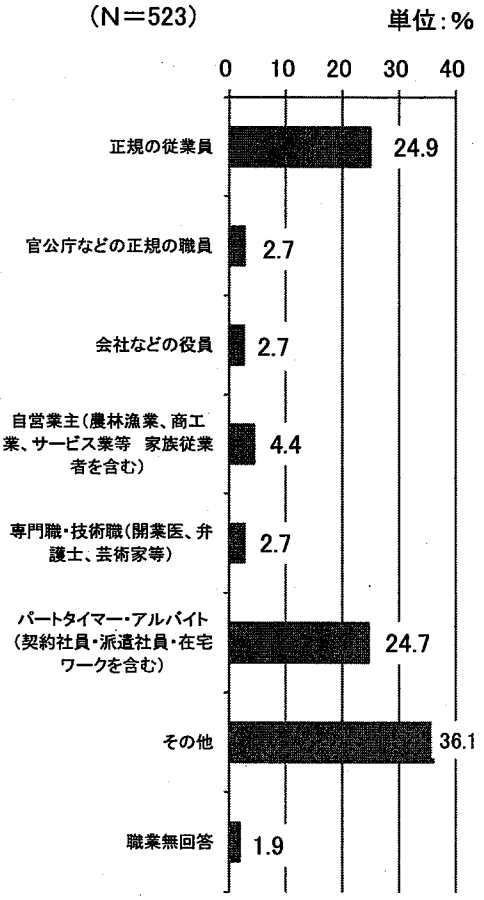
（２）年代

年代	件数	%
10代	5	1.0
20代	37	7.1
30代	59	11.3
40代	93	17.8
50代	86	16.4
60代	90	17.2
70代以上	150	28.7
年代無回答	3	0.6
合計（回答者数Ｎ）	523	100.0



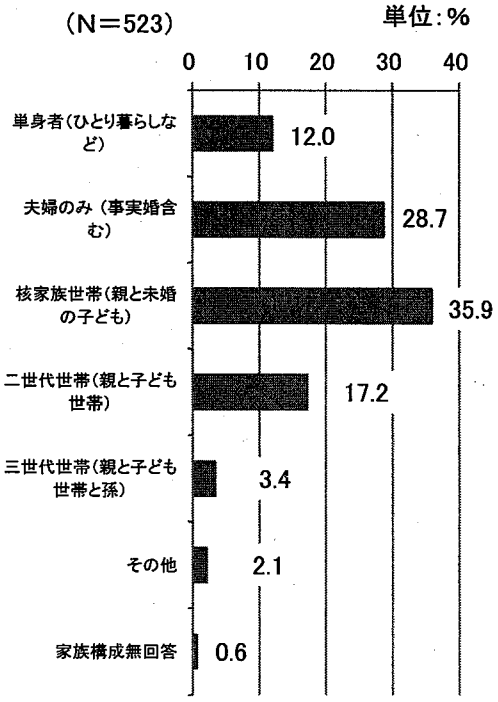
（３）職業

職業	件数	%
正規の従業員	130	24.9
官公庁などの正規の職員	14	2.7
会社などの役員	14	2.7
自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等　家族従業者を含む）	23	4.4
専門職・技術職（開業医、弁護士、芸術家等）	14	2.7
パートタイマー・アルバイト（契約社員・派遣社員・在宅ワークを含む）	129	24.7
その他	189	36.1
職業無回答	10	1.9
合計（回答者数Ｎ）	523	100.0



（４）家族構成

家族構成	件数	%
単身者（ひとり暮らしなど）	63	12.0
夫婦のみ　（事実婚含む）	150	28.7
核家族世帯（親と未婚の子ども）	188	35.9
二世代世帯（親と子ども世帯）	90	17.2
三世代世帯（親と子ども世帯と孫）	18	3.4
その他	11	2.1
家族構成無回答	3	0.6
合計（回答者数Ｎ）	523	100.0



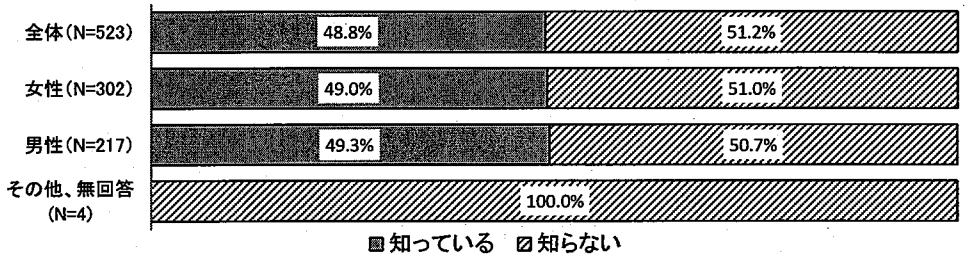
2 各設問の調査結果

(1) ジェンダー平等に関する用語の認知度

問５　次のうち、知っている言葉や取組にすべて○をしてください。

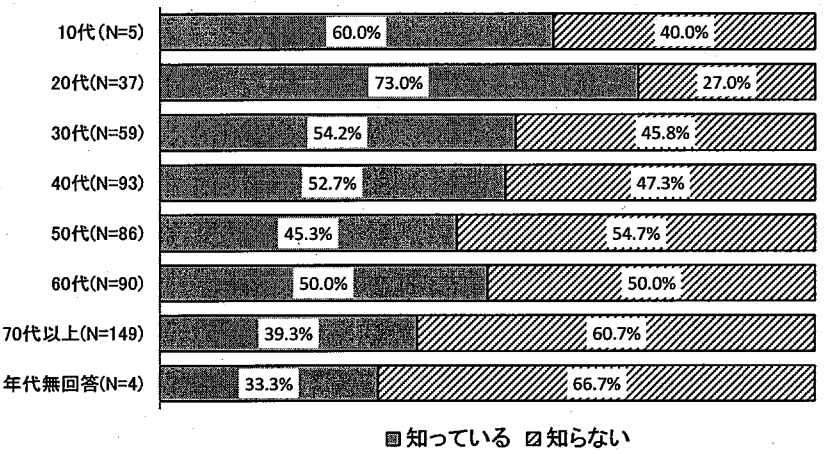
１男女共同参画社会基本法、２女性活躍推進法、３配偶者暴力防止法、４困難女性支援法、５ジェンダー平等、６多様性社会、７性的マイノリティ、８茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画、９本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組（パートナーシップ宣誓、講座やパネル展示の開催等）、１０茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ

①男女共同参画社会基本法



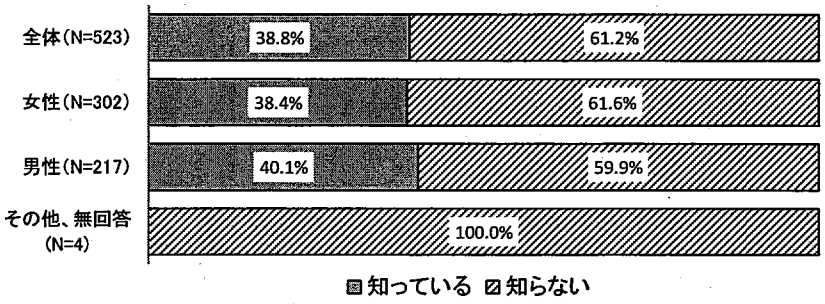
[全体の傾向]
「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合は48.8%と約半数を占めています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が49.0%、男性が49.3%で、女性、男性を比較して認知度に差異はありませんでした。



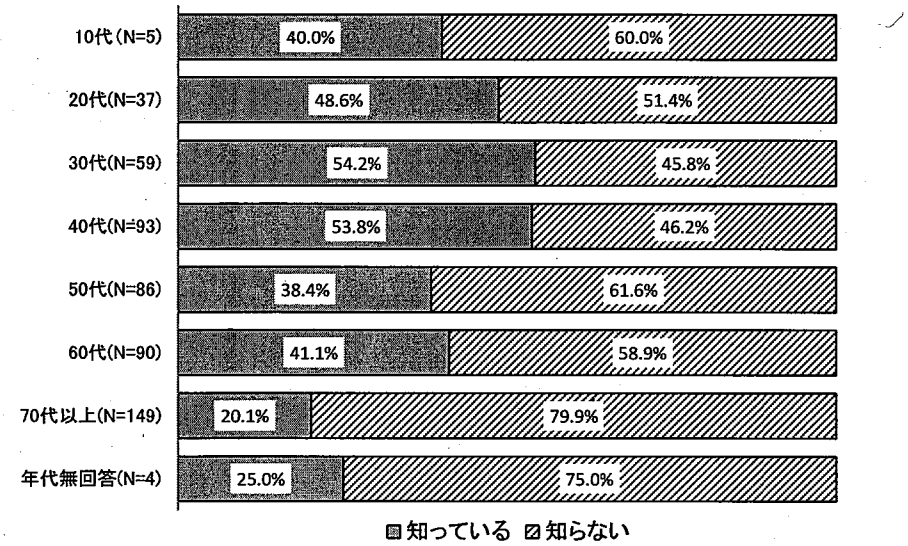
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、20代が73.0%で最も高く、10代(60.0%)、30代(54.2%)が続きます。70代以上が最も低く39.3%となっています。

②女性活躍推進法



[全体の傾向]
「女性活躍推進法」については、「知っている」と回答した割合(38.8%)より「知らない」と回答した割合(61.2%)の方が高くなっています。

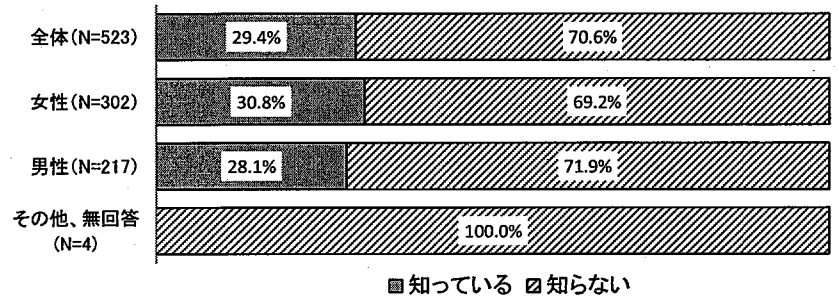
[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が38.4%、男性が40.1%で、性別による認知度の差異はありませんでした。



[年代別の傾向]

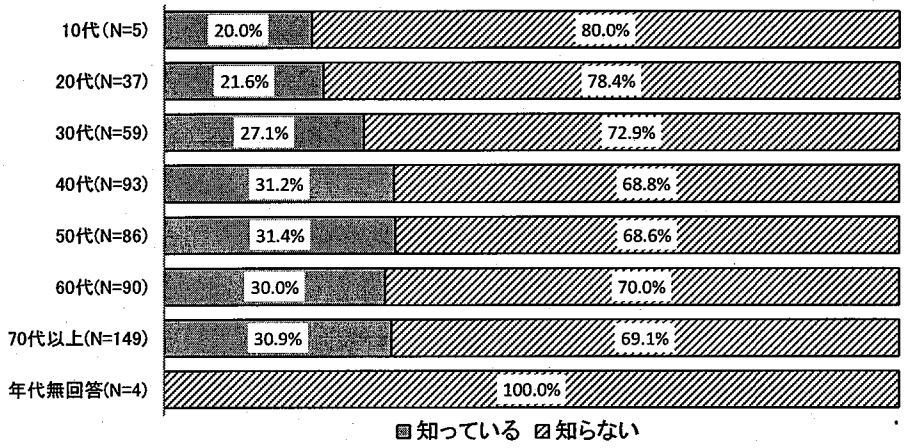
30代54.2%次いで40代が53,8%、20代が48.6%と続いており、若年から中年の働く世代の認知度が高くなっています。また、70代以上は20%程度となっています。

③配偶者暴力防止法



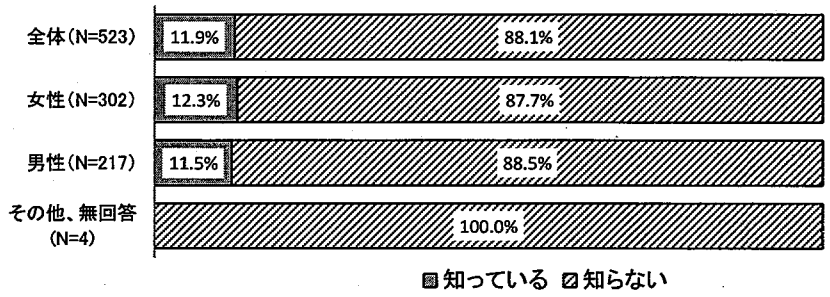
[全体の傾向]
「配偶者暴力防止法」については「知っている」と回答した割合は、29.4%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性男性ともに30%程度となっており、あまり差異はみられませんでした。



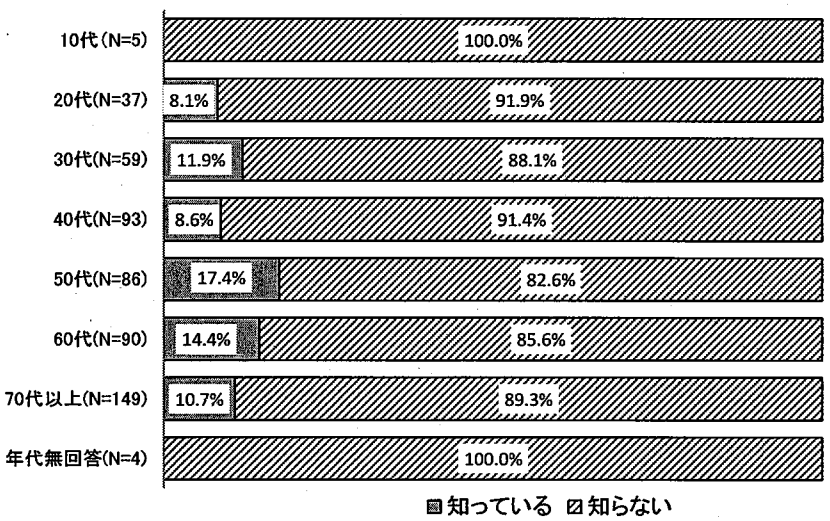
[年代別の傾向]
年代別で見ると、10代20代は20%程度ではありますが、40代以上の世代では30%弱の認知度となっています

④困難女性支援法



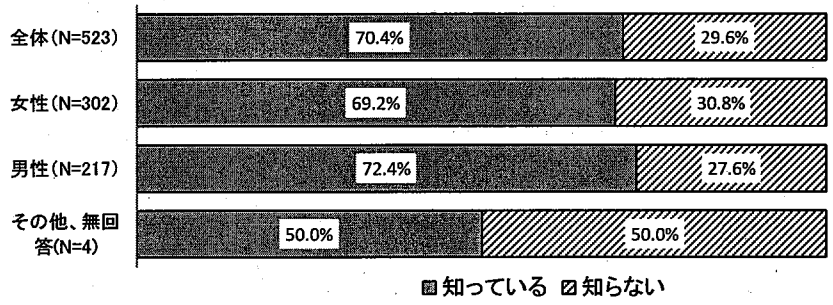
[全体の傾向]
「困難女性支援法」については、認知度が低く、「知っている」と回答した割合は11.9%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、性別による認知度の差異はあまり見られず、12%前後となっています。



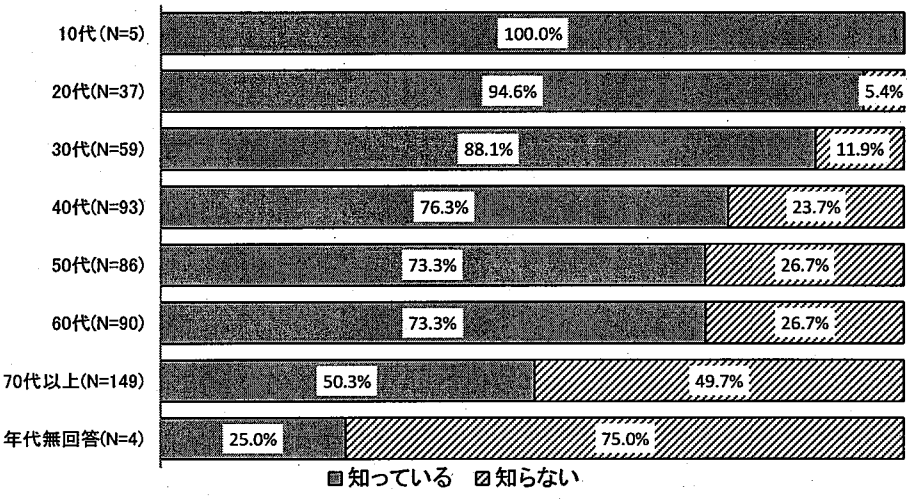
[年代別の傾向]
年代別で見ると、50代の方の認知度が最も高く17.4%、次いで60代が14.4%となっています。その他の年代では、10%前後の認知度となっております。

⑤ジェンダー平等



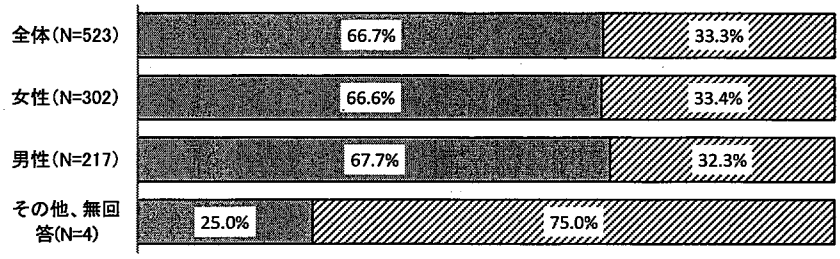
[全体の傾向]
「ジェンダー平等」の認知度については、「知っている」と回答した割合が70.4%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が69.2%、男性が72.4%で、性別による認知度の差異はあまりみられませんでした。



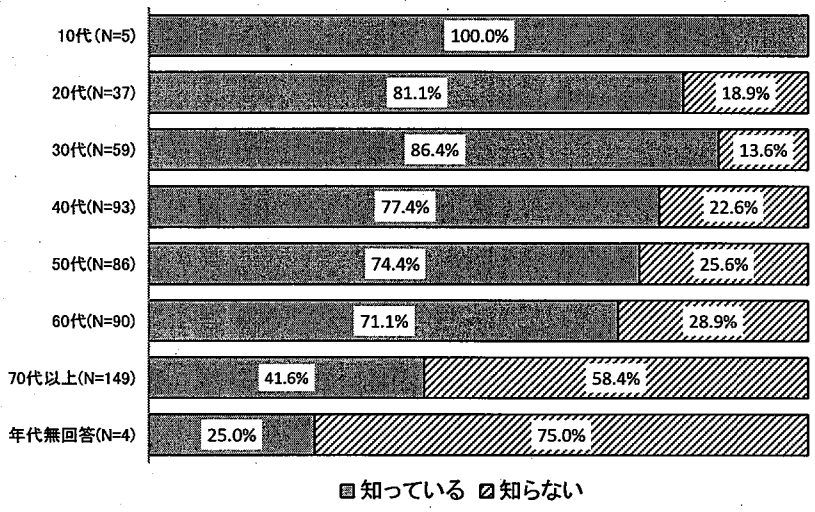
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10代から30代の認知度が高く、年代が上がる毎に認知度が下がっていることがわかります。

⑥多様性社会



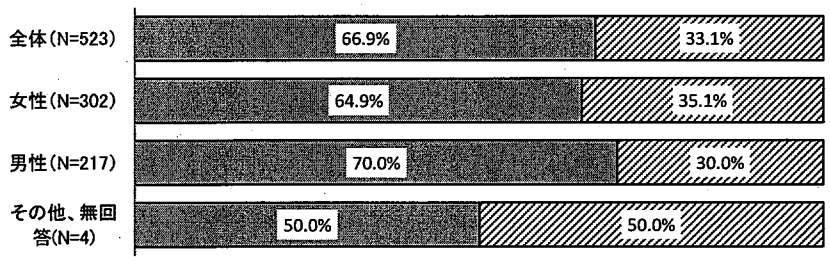
[全体の傾向]
「多様性社会」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が66.7%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が66.6%、男性が67.7%で、性別による認知度の差異はあまり見られません。



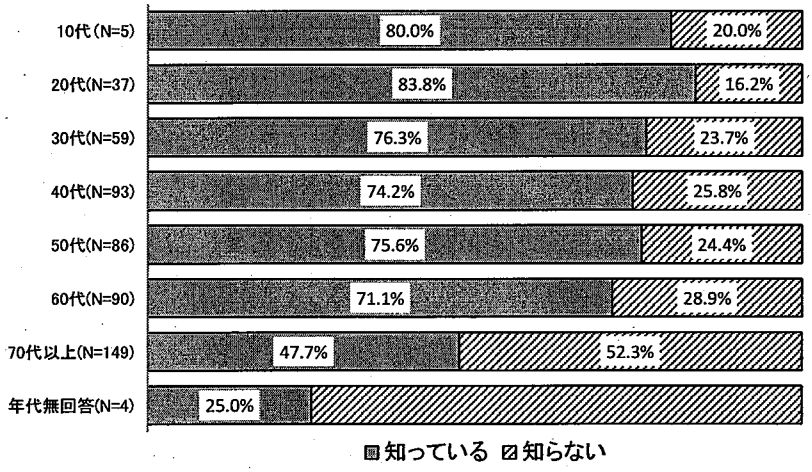
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10代が100%と最も高く、30代(86.4%)、20代(81.1%)が続き、最も認知度が低い70代以上では、41.6%となっています。

⑦性的マイノリティ



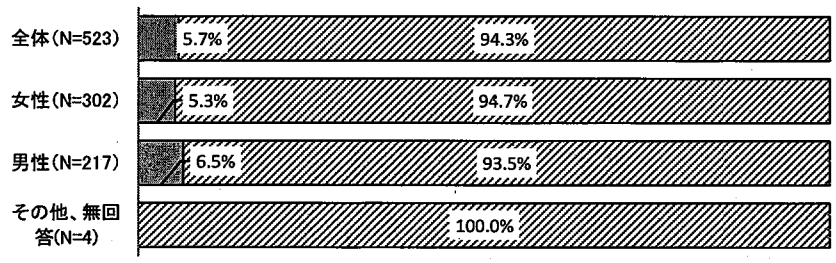
[全体の傾向]
「性的マイノリティ」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が66.9%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が64.9%、男性が70.0%で、性別による認知度の5.1ポイント差異がありました。



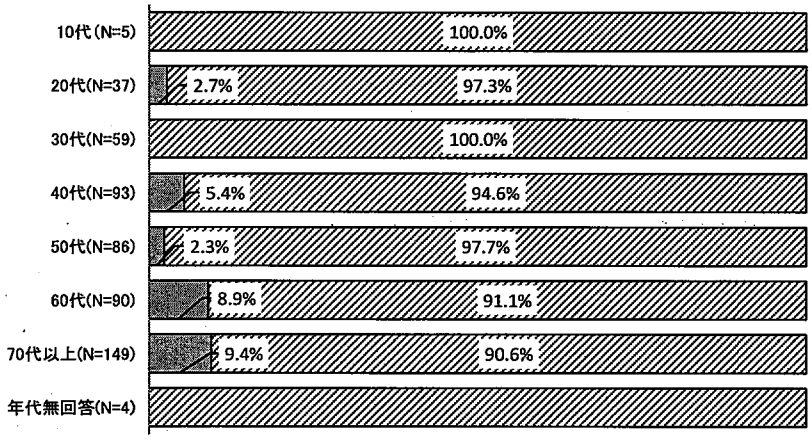
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、20代が83.8%と最も高く、10代(80.0%)、30代(76.3%)が続きます。

⑧茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画



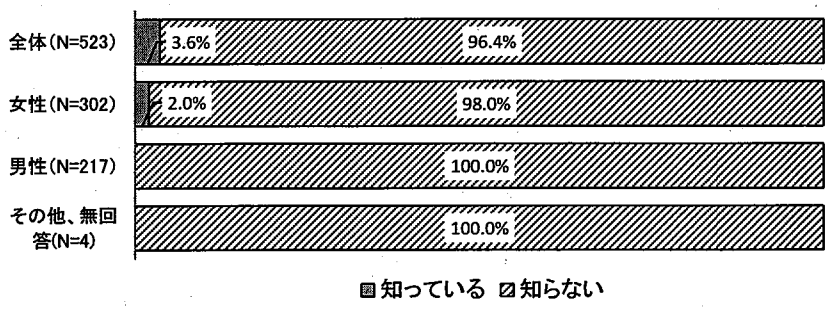
[全体の傾向]
「茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が5.7%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が5.3%、男性が6.5%となっています。



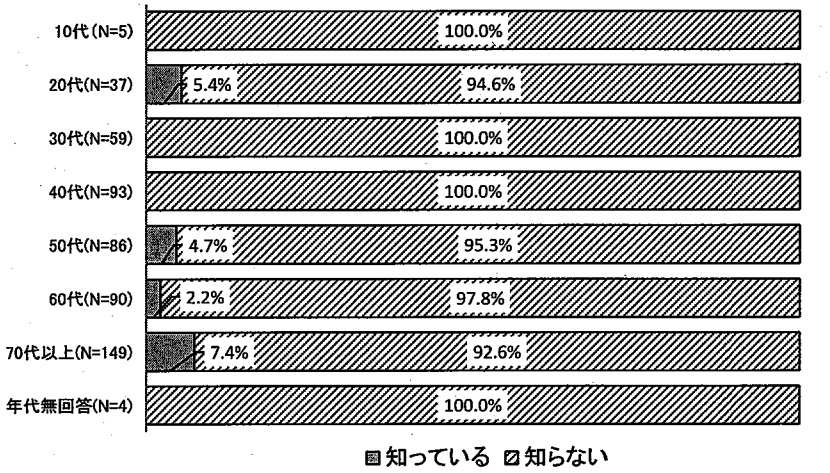
[年代別の傾向]
年代別に見ると70代以上の認知度が最も高く9.4%、60代が8.9%、40代が5.4%となっています。10代、30代の認知度が0%のため、計画の普及啓発が必要です。

⑨本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組



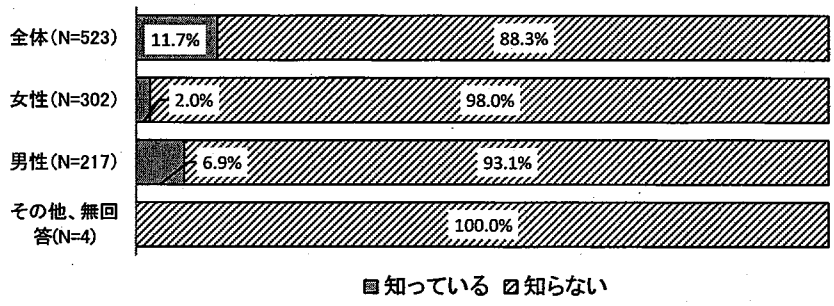
[全体の傾向]
「本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組」については、「知っている」と回答した割合が3.6%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が2.0%、男性が0%となっています。



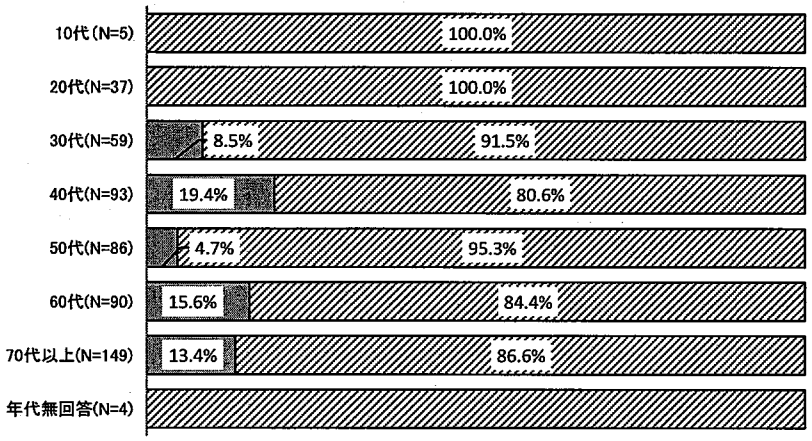
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10代、30代、40代は0%となっており、70代の7.4%が最も高く、20代(5.4%)、50代(4.7%)が続いています。茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画に基づく取組の実施を通じて普及啓発を行う必要があります。

⑩茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ



[全体の傾向]
「茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が11.7%となっています。

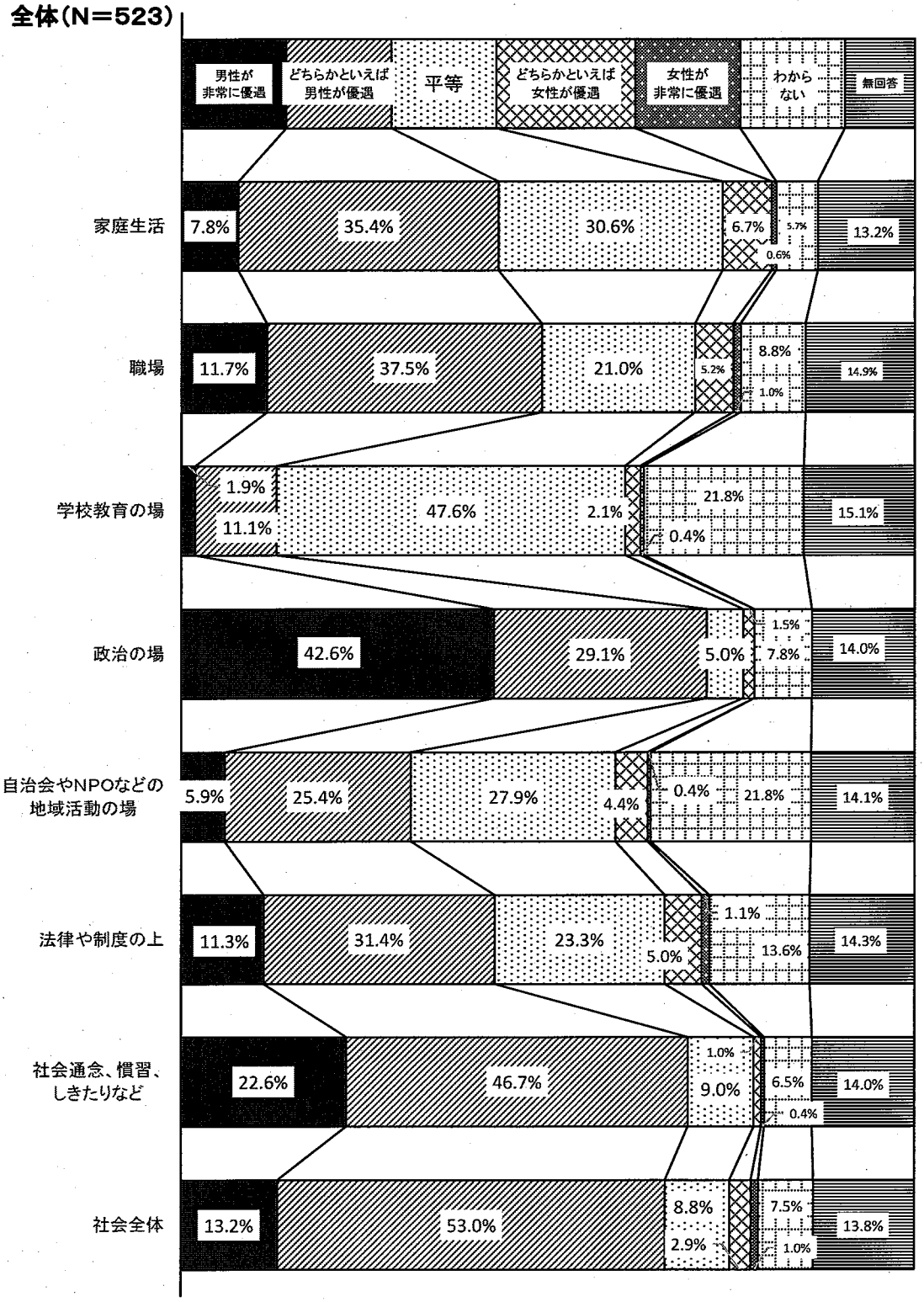
[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が2.0%、男性が6.9%となっています。



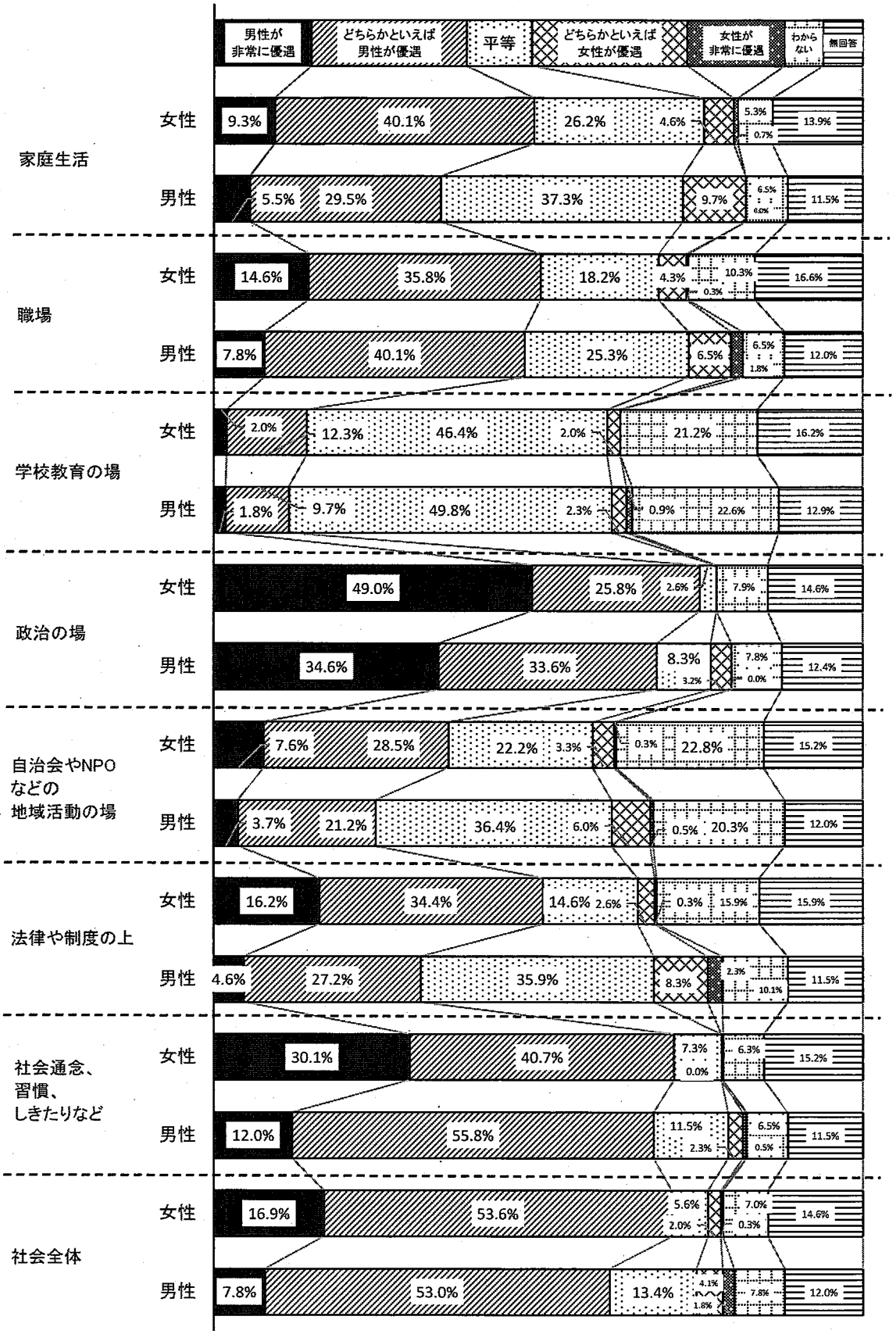
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、40代が19.4%と最も高く、60代(15.6%)、70代(13.4%)が続いています。

（2） 男女の地位の平等の考え方について

問６　あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。



[全体の傾向]
　男女の地位については、「学校教育の場」では「平等」と回答した割合が47.6%となっている一方、全体としては、多くの場面で男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあります。



[男女別の傾向]

性別で見ると、男女ともに、特に「政治の場」、「社会通念、慣習、しきたりなど」、「社会全体」において、男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあり、「学校教育の場」以外の項目で女性の方が「男性が非常に優遇」と回答した割合が高くなっています。

[年代別の傾向]

① 家庭生活

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20代	8.1%	37.8%	40.5%	5.4%	2.7%	5.4%	0.0%
30代	11.9%	30.5%	35.6%	11.9%	0.0%	5.1%	5.1%
40代	7.5%	41.9%	28.0%	9.7%	1.1%	6.5%	5.4%
50代	5.8%	36.0%	38.4%	4.7%	0.0%	3.5%	11.6%
60代	6.7%	37.8%	32.2%	3.3%	1.1%	7.8%	11.1%
70代以上	8.7%	32.0%	21.3%	6.7%	0.0%	5.3%	26.0%
年齢無回答	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

② 職場

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%
20代	13.5%	37.8%	24.3%	10.8%	2.7%	10.8%	0.0%
30代	15.3%	37.3%	20.3%	10.2%	1.7%	10.2%	5.1%
40代	11.8%	34.4%	35.5%	6.5%	1.1%	4.3%	6.5%
50代	11.6%	45.3%	22.1%	5.8%	0.0%	4.7%	10.5%
60代	10.0%	44.4%	21.1%	3.3%	1.1%	10.0%	10.0%
70代以上	11.3%	31.3%	12.0%	1.3%	0.7%	11.3%	32.0%
年齢無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%

③ 学校教育の場

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	0.0%	10.8%	70.3%	2.7%	2.7%	13.5%	0.0%
30代	1.7%	11.9%	44.1%	3.4%	0.0%	33.9%	5.1%
40代	1.1%	10.8%	57.0%	2.2%	1.1%	21.5%	6.5%
50代	2.3%	10.5%	52.3%	1.2%	0.0%	23.3%	10.5%
60代	0.0%	12.2%	46.7%	2.2%	0.0%	26.7%	12.2%
70代以上	4.0%	10.0%	35.3%	2.0%	0.0%	16.7%	32.0%
年齢無回答	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

④ 政治の場

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20代	40.5%	51.4%	5.4%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%
30代	50.8%	16.9%	6.8%	6.8%	0.0%	13.6%	5.1%
40代	49.5%	33.3%	5.4%	0.0%	0.0%	5.4%	6.5%
50代	47.7%	27.9%	7.0%	0.0%	0.0%	7.0%	10.5%
60代	38.9%	32.2%	4.4%	4.4%	0.0%	10.0%	10.0%
70代以上	36.0%	24.7%	2.7%	0.0%	0.0%	7.3%	29.3%
年齢無回答	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

⑤ 自治会やNPOなどの地域活動の場

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
20代	0.0%	24.3%	29.7%	8.1%	2.7%	35.1%	0.0%
30代	0.0%	22.0%	23.7%	5.1%	0.0%	44.1%	5.1%
40代	6.5%	28.0%	35.5%	2.2%	1.1%	21.5%	5.4%
50代	8.1%	22.1%	23.3%	2.3%	0.0%	33.7%	10.5%
60代	6.7%	26.7%	34.4%	6.7%	0.0%	15.6%	10.0%
70代以上	8.0%	25.3%	24.7%	4.7%	0.0%	6.7%	30.7%
年齢無回答	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

⑥ 法律や制度の上

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20代	18.9%	32.4%	16.2%	18.9%	5.4%	8.1%	0.0%
30代	10.2%	39.0%	22.0%	5.1%	1.7%	16.9%	5.1%
40代	8.6%	32.3%	30.1%	8.6%	0.0%	14.0%	6.5%
50代	14.0%	27.9%	24.4%	4.7%	1.2%	17.4%	10.5%
60代	8.9%	36.7%	24.4%	2.2%	1.1%	14.4%	12.2%
70代以上	11.3%	26.7%	21.3%	0.7%	0.7%	10.0%	29.3%
年齢無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%

⑦ 社会通念、慣習、しきたりなど

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
20代	32.4%	37.8%	13.5%	2.7%	2.7%	10.8%	0.0%
30代	27.1%	49.2%	10.2%	3.4%	0.0%	5.1%	5.1%
40代	25.8%	46.2%	10.8%	1.1%	0.0%	9.7%	6.5%
50代	26.7%	51.2%	7.0%	1.2%	0.0%	3.5%	10.5%
60代	21.1%	54.4%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%	11.1%
70代以上	14.7%	42.0%	6.7%	0.0%	0.7%	7.3%	28.7%
年齢無回答	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

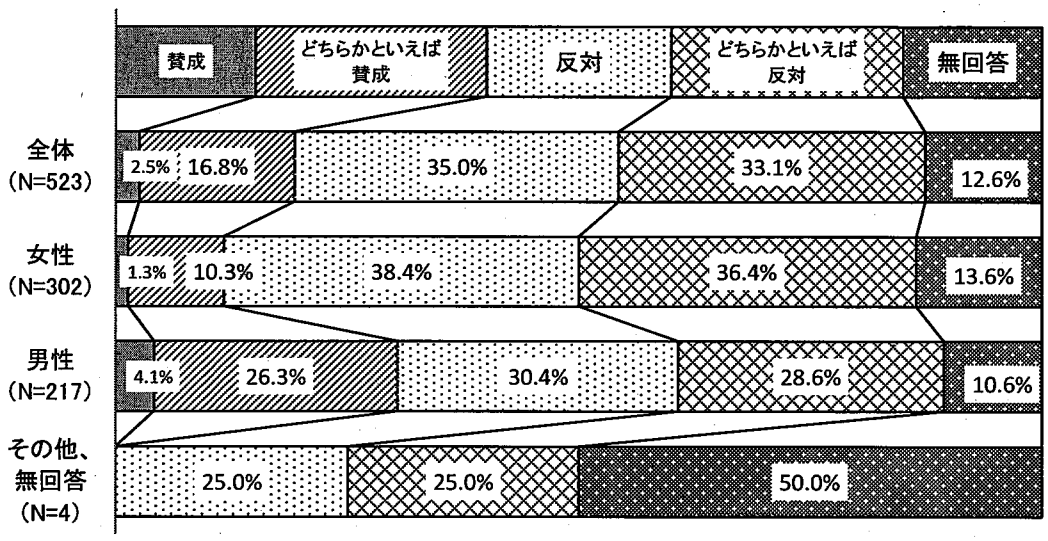
⑧ 社会全体

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない	無回答
10代	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
20代	18.9%	45.9%	16.2%	10.8%	2.7%	5.4%	0.0%
30代	15.3%	55.9%	8.5%	3.4%	3.4%	8.5%	5.1%
40代	9.7%	57.0%	9.7%	3.2%	0.0%	14.0%	6.5%
50代	11.6%	58.1%	10.5%	3.5%	1.2%	4.7%	10.5%
60代	12.2%	63.3%	7.8%	2.2%	0.0%	4.4%	10.0%
70代以上	15.3%	41.3%	6.7%	0.7%	0.0%	7.3%	28.7%
年齢無回答	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

多くの場面で、年代によらず、男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあります。

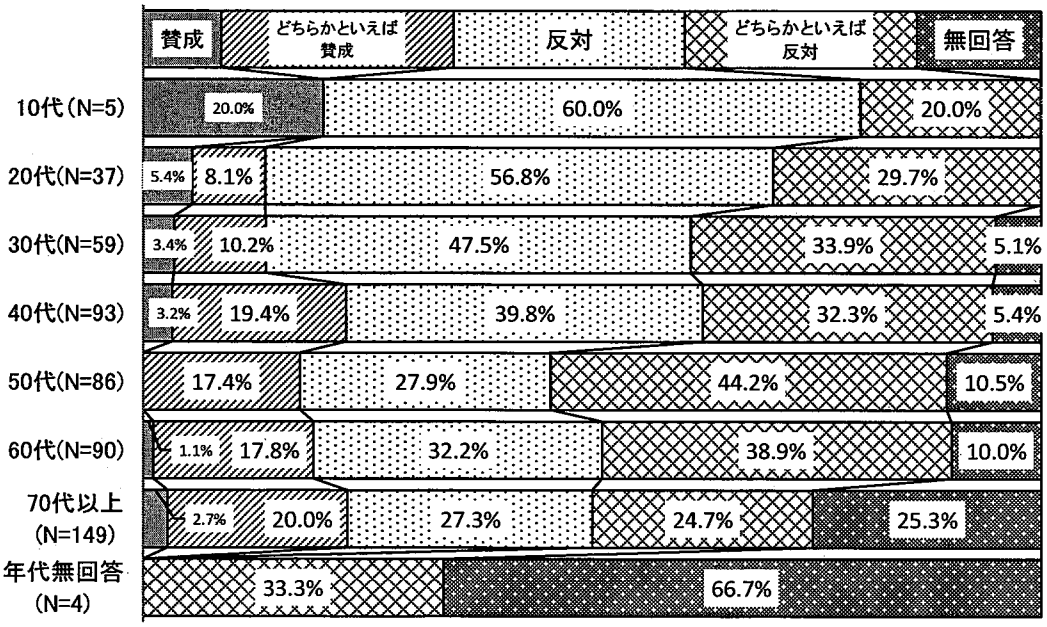
（3）「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問７　「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について、どうお考えですか。



[全体の傾向]
固定的性別役割分担意識については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は68.1%で、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合（19.3%）より48.8ポイント高くなっています。

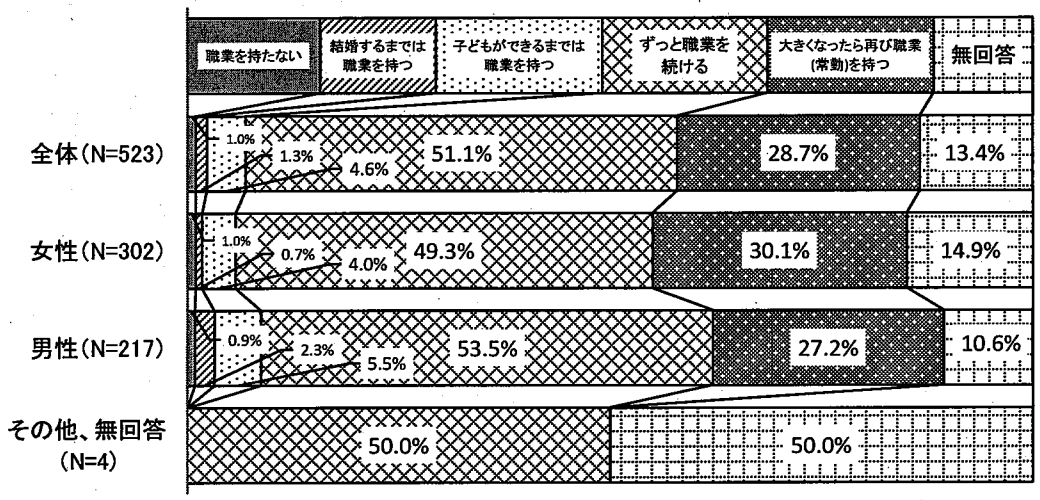
[男女別の傾向]
性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が11.6%、男性が30.4%で、男性が女性より18.8ポイント高くなっています。



[年代別の傾向]
年代別で見ると、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は、20代が86.5%と最も高く、30代(81.4%)、10代(80.0%)が続きます。

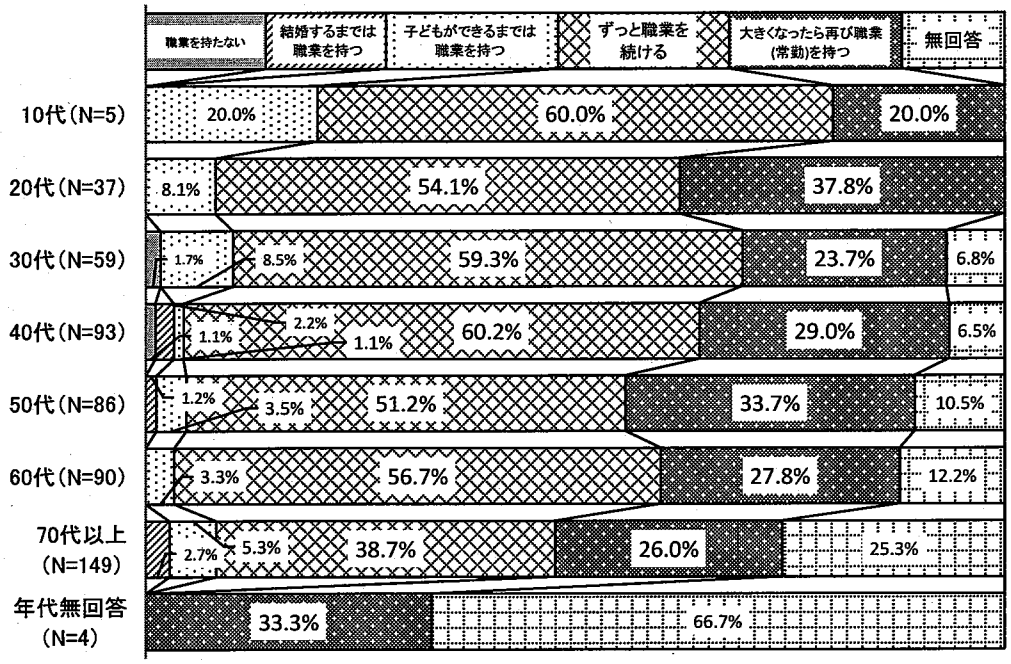
（4） 一般的に女性が職業を持つことについて

問８　一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。



[全体の傾向]
「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が51.1%で最も高く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」(28.7%)が続きます。

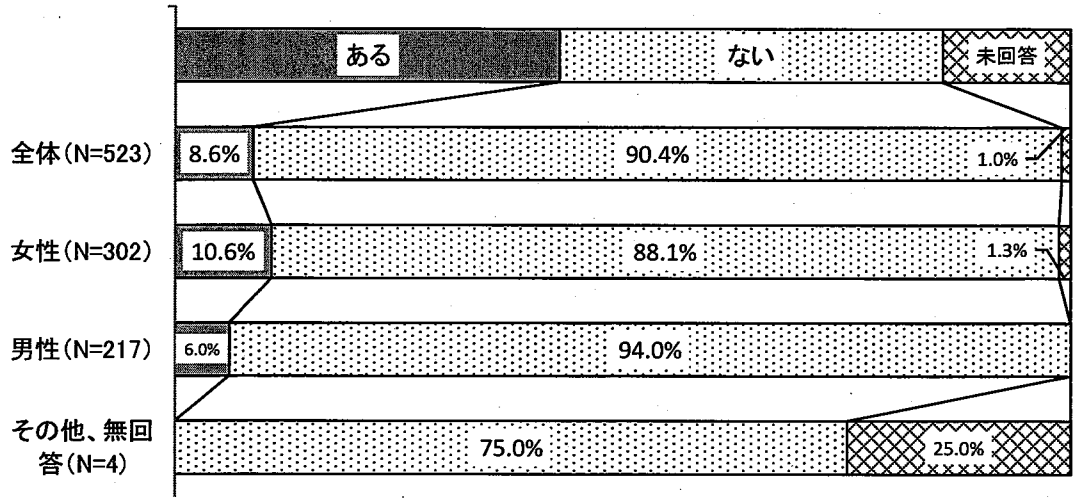
[男女別の傾向]
性別で見ると、男女共に、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が最も多く、女性が49.3%、男性が53.5%で、性別による差はあまり見られませんでした。



[年代別の傾向]
年代別で見ると、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は、40代が60.2%で最も高く、10代(60.0%)、30代(59.3%)が続きます。また、「女性は職業を持たない方がよい」または「結婚するまでは職業を持つ方がよい」と回答した割合は、全ての年代で5%未満と低くなっています。

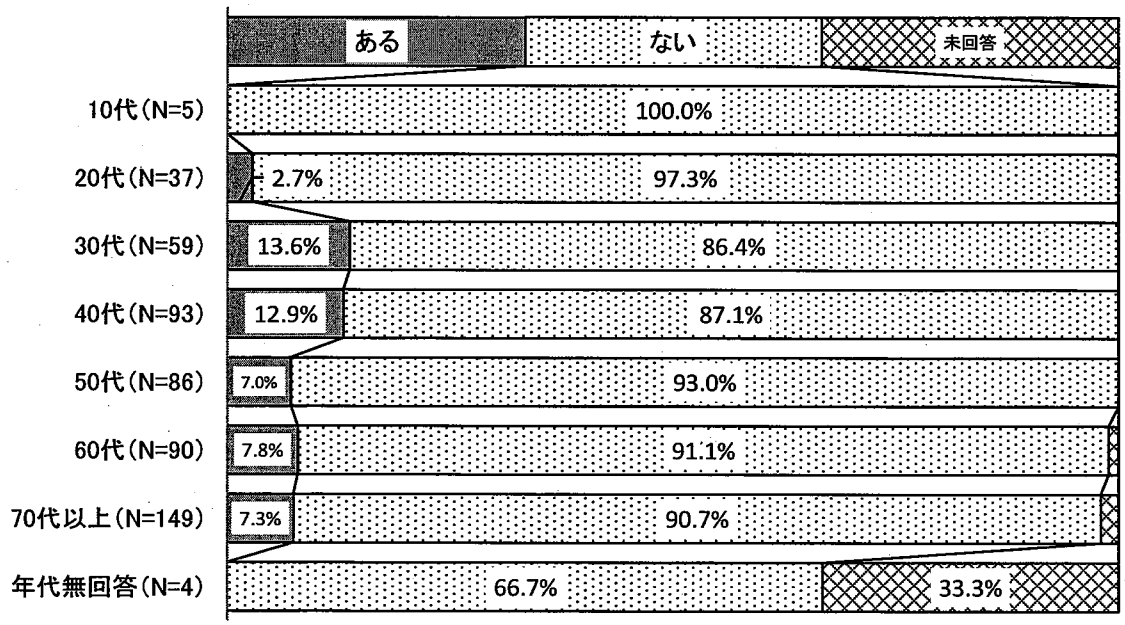
（5） 配偶者・パートナー間における暴力の経験について

問９（１） あなたは、配偶者や恋人などパートナーから暴力を受けたことはありますか。



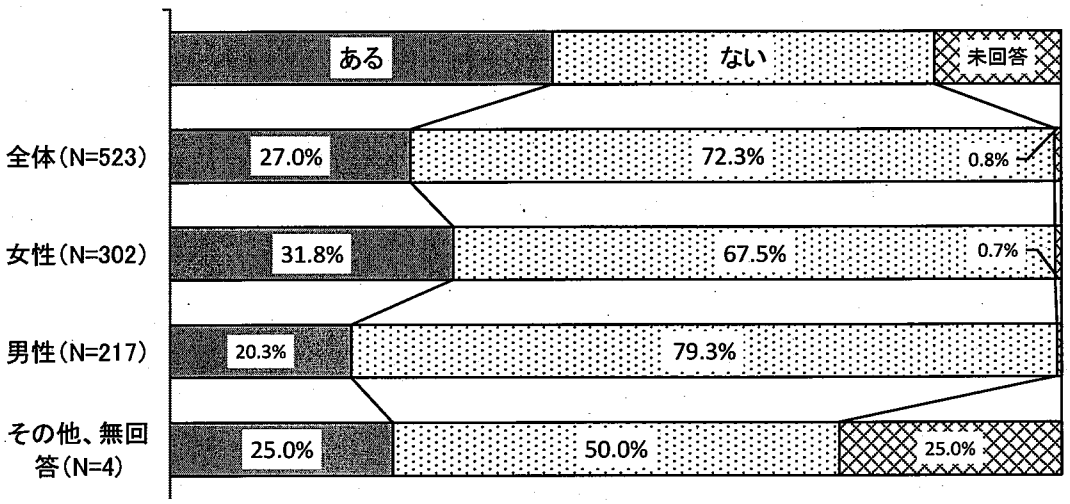
[全体の傾向]
配偶者・パートナー間で行われる暴力について、「受けたことがある」と回答した割合は8.6%でした。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「暴力を受けたことがある」と回答した割合は、女性が10.6%、男性は6.0%と、女性が男性よりやや高い結果となっています。



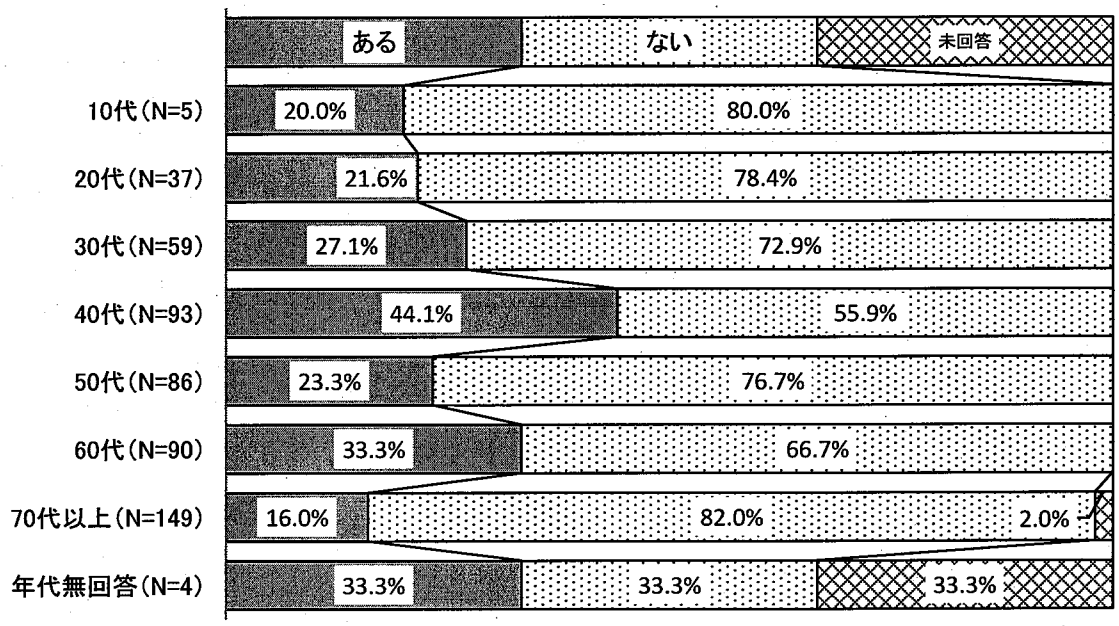
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「暴力を受けたことがある」と回答した割合は、30代が13.6%で最も高く、40代（12.9%）、60代以上（7.8%）が続きます。

問９（２）　身近で見聞きした経験はありますか。



[全体の傾向]
配偶者・パートナー間で行われる暴力について、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は27.0%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は、女性が31.8%、男性は20.3%と、女性が男性よりやや高い結果となっています。

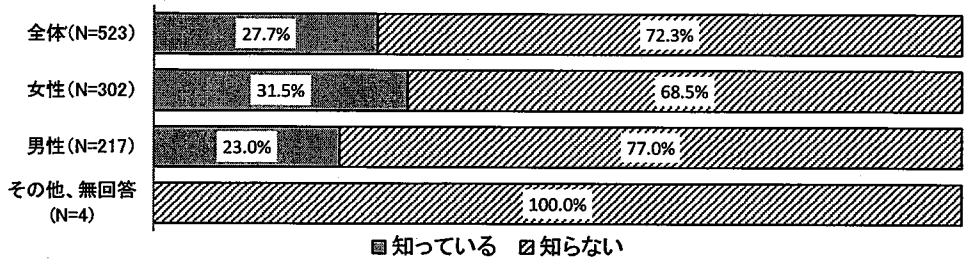


[年代別の傾向]
年代別で見ると、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は、40代が44.1%で最も高く、60代（33.3%）、30代（27.1%）が続きます。

問１０　配偶者や恋人などパートナーからの暴力被害等の相談先として知っている窓口にすべて○をしてください。

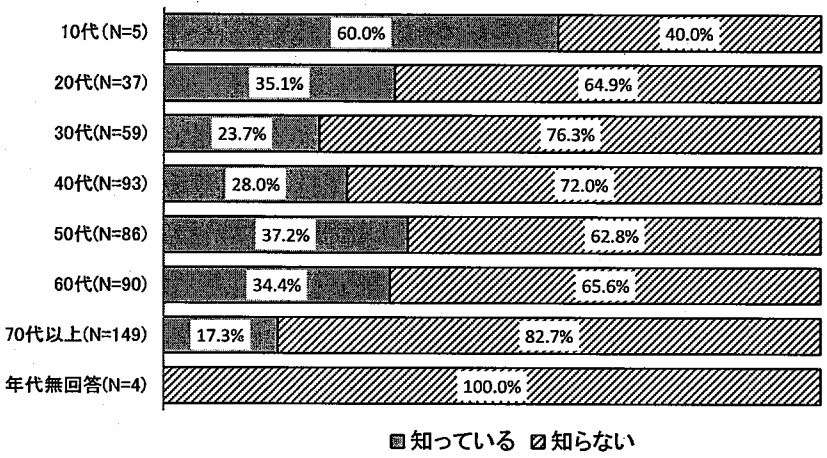
１女性の人権ホットライン（法務書）、２インターネットと人権相談受付窓口（法務書）、３警察総合相談室（警察）、４性犯罪１１０番（警察）、５女性のためのＤＶ相談（神奈川県）、６男性のためのＤＶ相談（神奈川県）、７女性のための相談室（茅ヶ崎市）、８人権相談（茅ヶ崎市）

①女性の人権ホットライン（法務省）



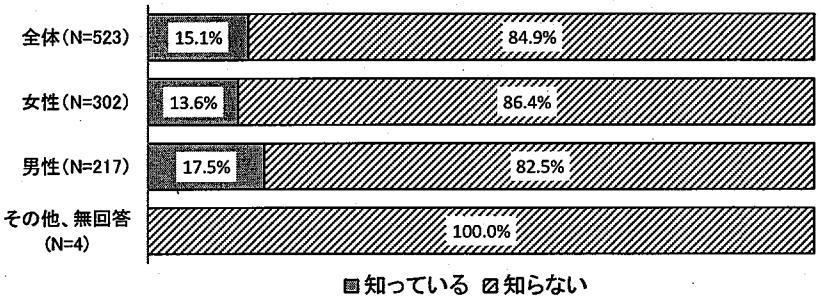
[全体の傾向]
「女性の人権ホットライン」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合は27.7%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が31.5%、男性が23.0%となっています。



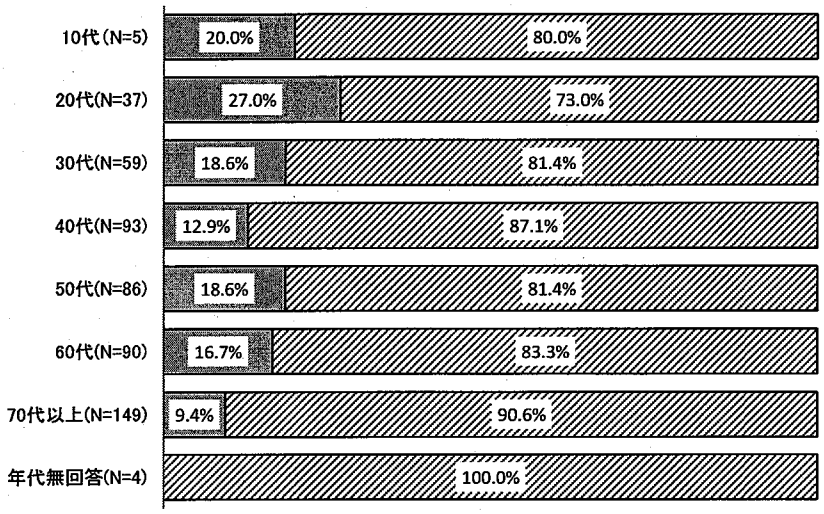
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10代が60.0%で最も高く、50代（37.2%）、60代（34.4%）が続きます。70代以上が最も低く17.3%となっています。

②インターネット人権相談受付窓口（法務省）



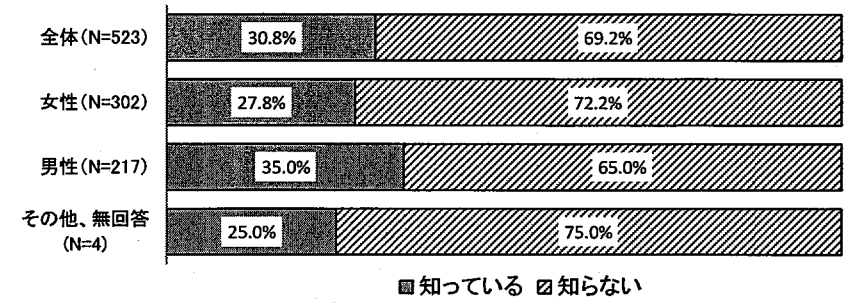
[全体の傾向]
「インターネット人権相談受付窓口（法務省）」については、認知度が低く「知っている」と回答した割合（15.1%）より「知らない」と回答した割合（84.9%）の方が高くなっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が13.6%、男性が17.5%となっています。



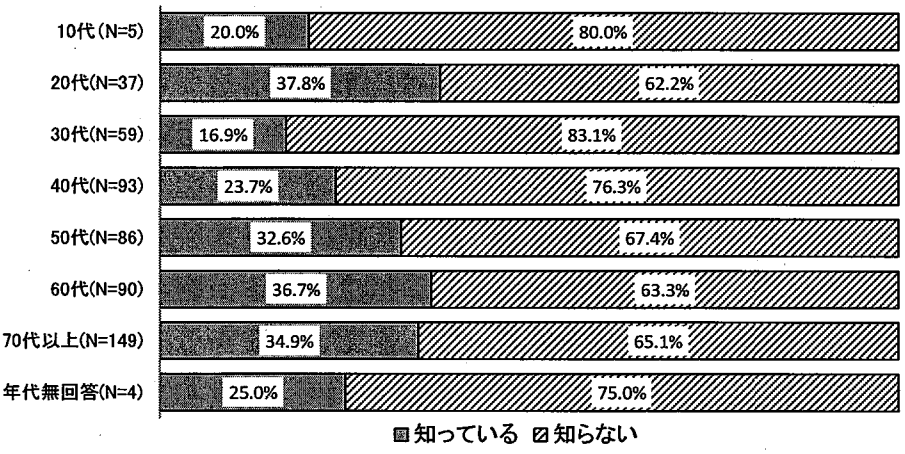
[年代別の傾向]
年代ごとの大きな差はなく、おおよそ10%から20%程度という結果になっています。

③警察総合相談室（警察）



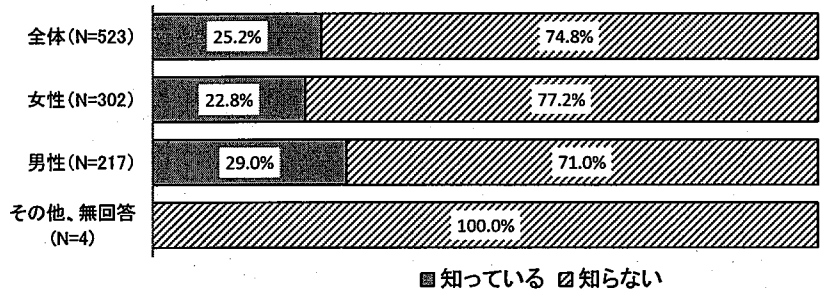
［全体の傾向］
「警察総合相談室（警察）」については、「知っている」と回答した割合は、30.8%となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が27.8%、男性が35.0%となっています。



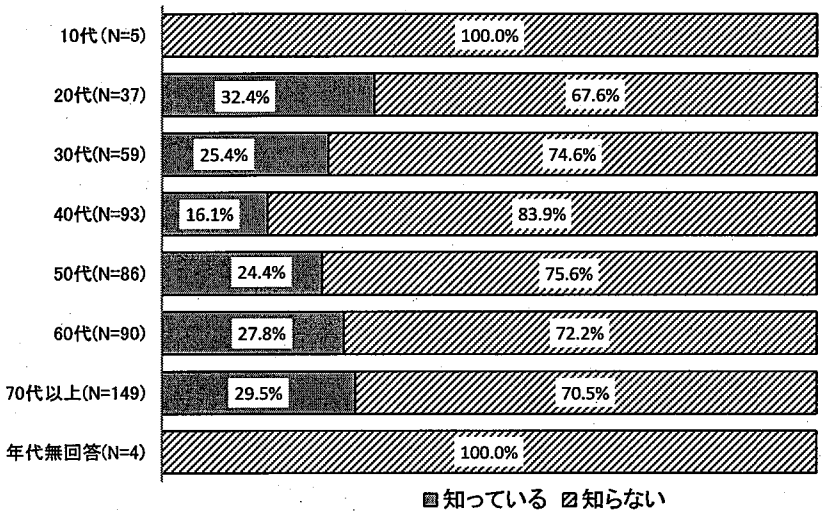
［年代別の傾向］
年代別の認知度としては、20代が37.8%、60代（36.7%）、70代（34.9%）となっていますが、年代別に大きな偏りはありませんでした。

④性犯罪110番（警察）



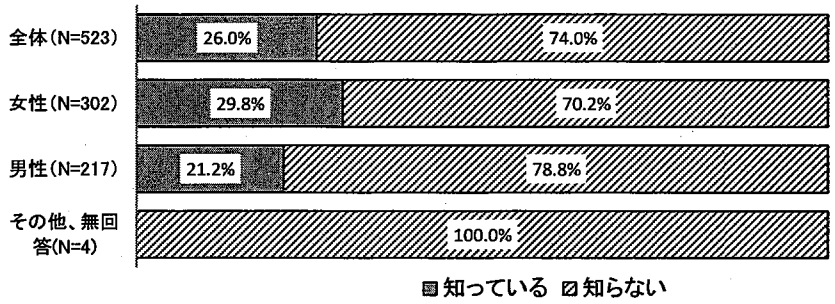
[全体の傾向]
「性犯罪110番（警察）」については、「知っている」と回答した割合は25.2%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が22.8%、男性が29.0%となっています。



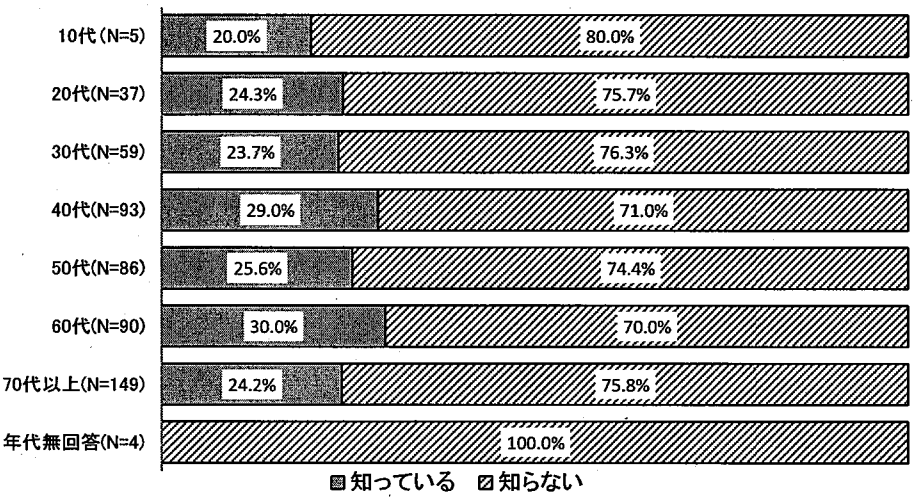
[年代別の傾向]
年代別の認知度としては、20代が32.4%、70代（29.5%）、60代（27.8）%、となっていますが、年代別に大きな偏りはありませんでした。

⑤女性のためのDV相談（神奈川県）



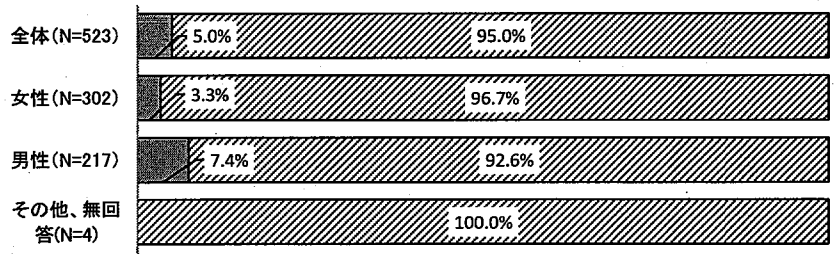
[全体の傾向]
「女性のためのDV相談（神奈川県）」を知っていると回答した割合は、26.0%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が29.8%、男性が21.2%となっています。



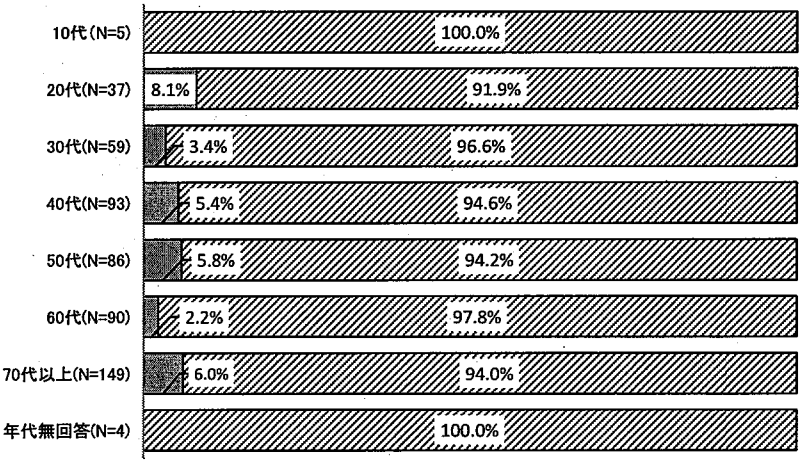
[年代別の傾向]
年代別の認知度としては、60代が一番高く30.0%となっていますが、年代別に大きな偏りはありませんでした。

⑥男性のためのDV相談（神奈川県）



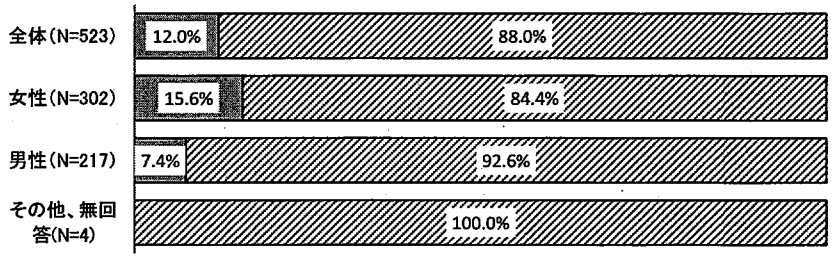
[全体の傾向]
「男性のためのDV相談（神奈川県）」の全体の認知度については、認知度が低く「知っている」と回答した割合が5%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が3.3%、男性が7.4%となっています。



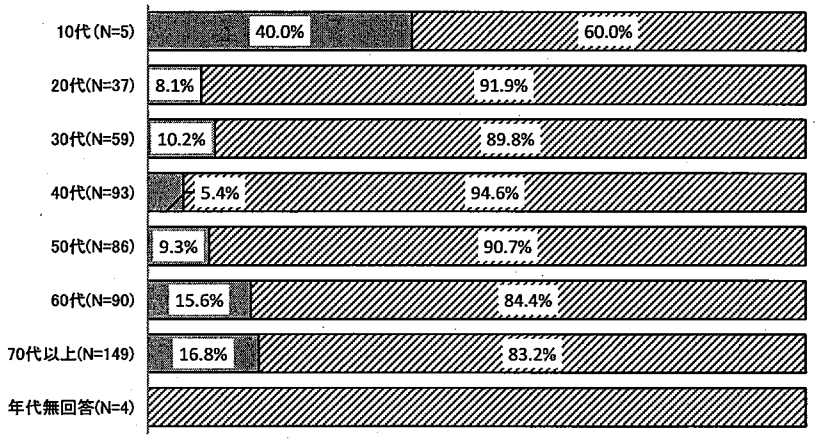
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、20代が最も高く8.1%となっていますが、年代別に大きな偏りはありませんでした。

⑦女性のための相談室（茅ヶ崎市）



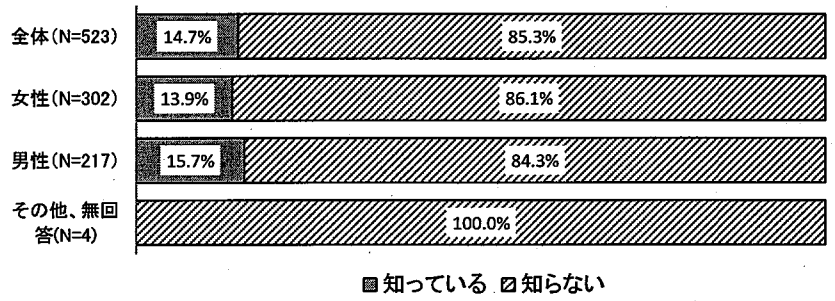
[全体の傾向]
「女性のための相談室（茅ヶ崎市）」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が12.0%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が15.6%、男性が7.4%となっております。



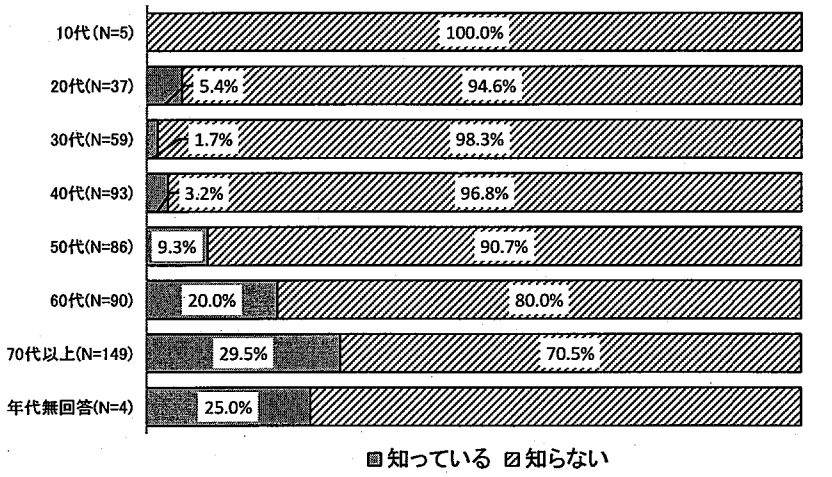
[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10代が40.0%と最も高く、次いで70代が16.8%、60代（15.6%）、30代（10.2%）が続きます。

⑧人権相談（茅ヶ崎市）



[全体の傾向]
「人権相談（茅ヶ崎市）」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が14.7%となっています。

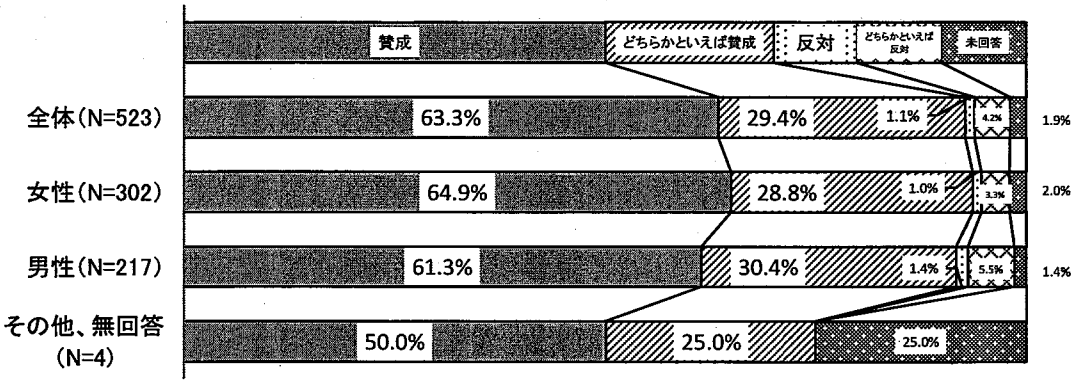
[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が13.9%、男性が15.7%で、性別による差はあまり見られません。



[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、70代が29.5%と最も高く、次いで60代が20.0%、50代（9.3%）、20代（5.4%）が続きます。

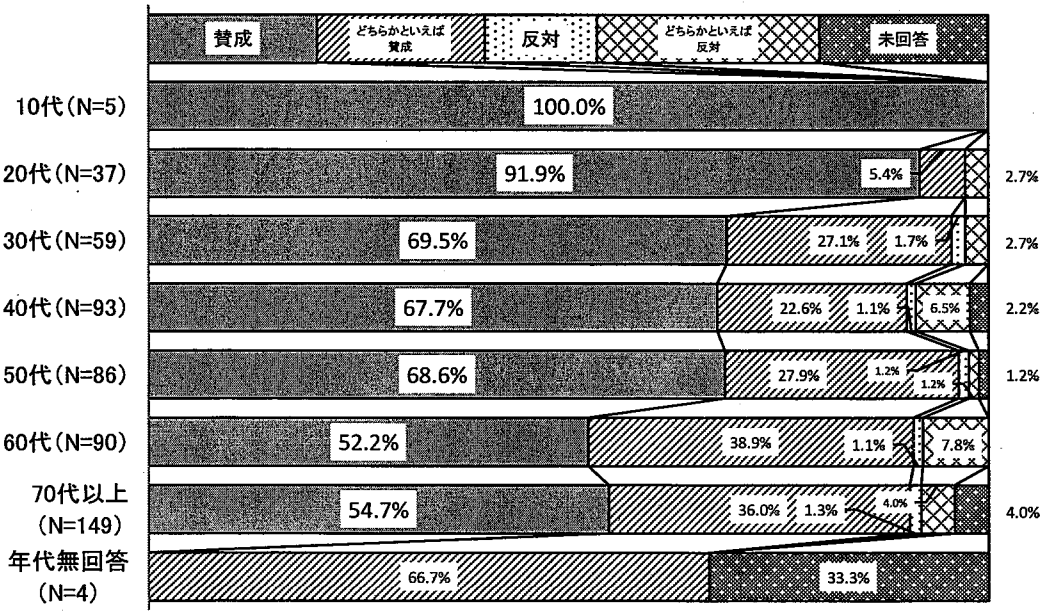
（6） 女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて

問１１　妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方について、どうお考えですか。



[全体の傾向]
妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を女性が有するという考え方については、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が92.7%と、全体の9割強を占めています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が93.7%、男性が91.7%で、性別による差異はあまり見られません。



[年代別の傾向]
年代別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、10代が100.0%と最も高く、20代（91.9%）、30代（69.5%）が続きます。

第３章　調査結果のまとめ

第３章　調査結果のまとめ

１　ジェンダー平等に関する用語の認知度について

●「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が48.8%（前回調査50.3%）、「ジェンダー平等」の認知度は、70.4%（前回調査74.3%）、「多様性社会」の認知度は、66.7%（前回調査70.0%）、「女性活躍推進法」の認知度は、38.8%（前回調査36.1%）と前年同等の認知度となりました。また、今回の調査から新設した質問である「配偶者暴力防止法」は29.4%、令和６年４月に施行される「困難女性支援法」は、11.9%、「性的マイノリティ」は、66.9%、令和５年４月に策定した「茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画」は5.7%となっています。計画期間初年度ではありますが、市民により一層浸透させていくための努力が必要です。【問５】

２　男女の地位の平等について

●男女の地位の平等については、「学校教育の場」では「平等」と回答した割合が47.6%となっている一方、全体としては、多くの場面で男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあります。「政治の場における男女の地位の平等」については、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が 71.7%と高く、男女の不平等感は根強く残っています。【問６】

●「男は仕事、女は家庭という固定的性別役割分担意識」については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は 68.1%と、前回調査（70.5%）から若干減少しているものの、否定的に考える人が多くなっています。一方、性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が 11.6%（前回調査 17.6%）、男性が30.4%（前回調査25.6%）で、男性が女性より18.8ポイント高くなっています。【問７】

３　女性の活躍推進について

●一般的に女性が職業を持つことについて、「子どもができても、ずっと職業を続ける方がよい」とする就業継続を支持する回答の割合が51.1%で最も高く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」（28.7%）が続きます。性別で見ると、就業継続を支持する回答の割合は、女性が49.3%（前回調査52.7%）、男性が53.5%（前回調査）となっております。今回の調査においても性別による差はほぼ見られませんでした【問８】

４　配偶者暴力と女性の有する権利について

●「配偶者や恋人などのパートナーから暴力を受けたことがあるか」については、全体で8.6%（前回調査10.6%）、女性は10.6%（前回調査11.3%）、男性は6.0%（前回調査9.2%）が「ある」と回答しています。【問９】

●「妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方」については、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が、92.7%（前回回答 93.1%）となりました。さらに、性別による差がほぼなく、一般的な考え方として広く市民に定着していると考えられます。【問10】

資　料　編

～　市からの大切なお願い　～

ジェンダー平等社会に関するアンケートにご協力ください！

- このアンケート調査は、ジェンダー平等社会に関する市民の意識を把握することを目的としています。
- いただいた御意見は、市の施策を検討する際の基礎資料として活用いたします。
- 回答に要する時間は約５分です。

性別に関わりなく、互いに協力し合う茅ヶ崎市にするために、

あなたの声を聞かせてください

御回答にあたってのお願い

１．アンケート対象者

本アンケート調査は個人を対象としていますので、御本人が直接回答するか、御家族の方などに御助力をいただき回答してください。

２．回答方法（インターネットまたは郵送）

毎年多くの御回答をいただいており、集計作業効率化のため、

インターネットでの回答に御協力をお願いいたします。

右のコードを読み込む　➡　専用フォームで回答

※郵送による回答を御希望の場合は、調査票を御記入いただき返信用封筒に入れポストに投函してください。

３．回答期限

令和５年１２月３１日（日）２３時５９分まで

４．お問い合わせ

調査について御不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

担当課　茅ヶ崎市　文化スポーツ部　多様性社会推進課
電　話　０４６７－８１－７１５０（直通）
E-mail　tayousei@city.chigasaki.kanagawa.jp

※この調査は、18歳以上の市民を対象に、１，３００人を住民基本台帳より無作為に抽出して実施しています。回答は無記名で行い、集計結果は統計的に処理するため個人が特定されることはありません。

また、行政上の基礎資料として活用することを目的としており、この目的以外には使用することはありません。

令和５年度ジェンダー平等社会に関するアンケート　回答票

設問に対するお答えは、用意されている選択肢の番号を○で囲んでください。番号を記載する設問もあります。

また、○の数は、１つだけ選んでいただく設問と複数選んでいただく設問がありますので、御注意ください。

はじめに、御自身・御家族のことについてお伺いします

問１　あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

１．女性	２．男性
３．（　　）	

※　この調査では、ジェンダー平等社会に関する意識や生活の実態を把握・分析するために、問1で性別をお伺いします。また、性別は多様であるという観点から、女性・男性の選択肢に加えて自由記載欄を設けています。

問２　あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

１．10 代	２．20 代	３．30 代
４．40 代	５．50 代	６．60 代
７．70 代以上		

問３　あなたの職業は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

１．正規の従業員
２．官公庁などの正規の職員
３．会社などの役員
４．自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等　家族従業者を含む）
５．専門職・技術職（開業医、弁護士、芸術家等）
６．パートタイマー・アルバイト（契約社員・派遣社員・在宅ワークを含む）
７．その他（　　）

問４　あなたの世帯の構成は、次の中のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

１．単身（ひとり暮らし）	２．夫婦のみ　（事実婚含む）
３．核家族世帯（親と未婚の子ども）	４．二世代世帯（親と子ども世帯）
５．三世代世帯（親と子ども世帯と孫）	６．その他　（　　）

問５　次のうち、知っている言葉や取組に**すべて**○をしてください。

１．男女共同参画社会基本法	２．女性活躍推進法
３．配偶者暴力防止法	４．困難女性支援法
５．ジェンダー平等	６．多様性社会
７．性的マイノリティ	８．茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画
９．本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組（パートナーシップ宣誓、講座やパネル展示の開催等）	１０．茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ

ジェンダー平等についてお伺いします

問６　あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。（○は各項目に１つずつ）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
①家庭生活	1	2	3	4	5	6
②職場	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤自治会やNPOなどの地域活動の場	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念、慣習、しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体	1	2	3	4	5	6

問７　「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識*について、どう思いますか。（○は1つだけ）

１．賛成	２．どちらかといえば賛成
３．どちらかといえば反対	４．反対

***固定的性別役割分担意識：**例えば「男は仕事、女は家庭」「男性は主要業務、女性は補助的な業務」というように、性別を理由として役割を固定化してしまう考え方や意識のことです。

女性の活躍推進についてお伺いします

問８　一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。（○は1つだけ）

１．女性は職業を持たない方がよい	２．結婚するまでは職業を持つ方がよい
３．子どもができるまでは職業を持つ方がよい	４．子どもができてもずっと職業を続ける方がよい
５．子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい	

人権についてお伺いします

問９　あなたは、配偶者や恋人などパートナーから暴力を受けたことはありますか。また、身近で見聞きした経験はありますか。（○は各問に１つずつ）

（１）パートナーから暴力を受けた経験はありますか。（○は1つだけ）

１．ある	２．ない

（２）身近で見聞きした経験はありますか。（○は1つだけ）

１．ある	２．ない

問１０　あなたは、配偶者や恋人などパートナーからの暴力被害等の相談先として次のような窓口を知っていますか。知っている相談機関や窓口等に<u>すべて</u>○をしてください。

１．女性の人権ホットライン（法務省）	２．インターネット人権相談受付窓口（法務省）
３．警察総合相談室（警察）	４．性犯罪１１０番（警察）
５．女性のためのＤＶ相談（神奈川県）	６．男性のためのＤＶ相談（神奈川県）
７．女性のための相談室（茅ヶ崎市）	８．人権相談（茅ヶ崎市）

問１１　妊娠・出産等、自分の身体のことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方について、どうお考えですか。（○は1つだけ）

１．賛成	２．どちらかといえば賛成
３．反対	４．どちらかといえば反対

最後の設問です。

問１２　ジェンダー平等社会の実現に向けたまちづくりについて、御意見・御要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので自由に記入してください。

調査に御協力いただきまして、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に調査票２枚を入れて、<u>１２月３１日（日）までに</u>ポストへ投函してください。

令和５年度ジェンダー平等社会に関するアンケート調査報告書
令和６（２０２４）年３月発行
発行　茅ヶ崎市　文化スポーツ部多様性社会推進課
〒２５３－８６８６　神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目１番１号
電　話　０４６７－８１－７１５０（直通）
ＦＡＸ　０４６７－５７－８３８８
ホームページ　https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/